



今月の主な内容

- 平成18年度軽米秋まつり..... 2～3
- 花いっぱいコンクール..... 4
- 第八姫が県共進会で初名誉賞... 7
- 中里マツエさん100歳に..... 9

「ヤーレ。ヤーレ」の子どもたちの掛け声と、笛、太鼓のリズムが一つになった祭りの音は、秋の訪れを感じさせてくれます。祭りはいつの時代にも親から子へ、孫の世代へと受け継がれ、郷土の芸能を守り育て、地域の人の結びつきをも強くしてきました。一人でも多くの子どもたちに、この祭りの心と技を伝えていきたいものです。

(写真は、9月16日に行われた軽米秋まつり・お通りの一場面。関連記事は2～3ページに掲載)



艶やかさ薫る 軽米音頭流し踊り

●流し踊り参加団体（行列順）

- ・軽米小学校マーチングバンド
- ・J A北いわて軽米地域女性部
- ・軽米町役場
- ・軽米町商工会女性部
- ・軽米町金融団（岩手銀行、みちのく銀行各軽米支店、郵便局）
- ・社会福祉法人麗沢会（花の里かるまい）
- ・上新町
- ・新町大正団
- ・社会福祉法人桂泉会
- ・県立軽米病院
- ・立正佼成会さんさ踊り

中日の十七日には、午後五時から軽米音頭流し踊りを開催。軽米小学校マーチングバンドの華やかな行進を先頭に、全十一団体、総勢六百人の踊り手が町内を艶やかに踊り歩きました。



厳かにそして華やかに 御輿・山車行列

沿道を埋めた観客

十六日のお通りは午後三時に、のろしの合図とともに軽米八番宮を出発。猿田彦命像を先導役にした御輿行列に、五つの郷土芸能団体と大合の山車が、およそ一時間にも及



行列を先導した猿田彦命像

軽米秋まつりが、九月十六日から十八日まで町中心街で開催されました。御輿行列と山車が練り歩いた初日と最終日、中日に行われた軽米音頭流し踊りに大勢の人出で賑いを見せました。お環りの十八日には、あいにくの小雨にもかかわらず沿道は大勢の人出で賑い、行列をなす人たちからも熱い心意気が伝わってきました。

ぶ大行列をなし、観客で埋まった沿道をゆつくりとしたペースで、お飯屋（門前）までの二きけを練り歩きました。
手塩にかけた自作山車
新町大正団（夏井夏男団長）

では今年、自前で山車を制作。今年の二月ごろから具体的な構想を練り始め、五月から山車小屋を建てて、台車の作成から取り組んできました。



蓮台野芙蓉団「風流 義経八隻飛び」

彩り添えた 郷土芸能



太神楽



山内神楽



高家えんぶり



駒踊り



虎舞

勇士あふれる



軽米中学校グラウンドを主会場に、日ごろの訓練成果を披露した消防演習

町消防演習



雪谷川河川敷を彩った一斉放水訓練

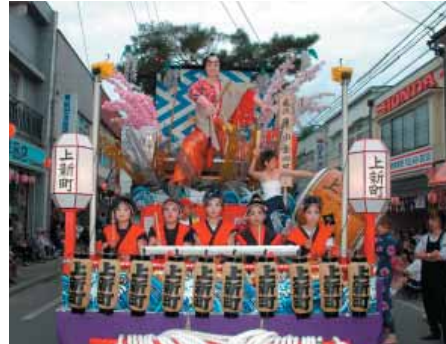
十七日朝六時のサイレンとともに軽米中グラウンドを主会場に行われた町消防演習には、町消防団（増尾俊一団長）と町婦人消防協力隊連絡協議会（松浦ちか子会長）から約五百人が参加しました。功績のあった団員、隊員への表彰、消防協力者への感謝状贈呈の後、編隊を組んでの部隊訓練、初期消火訓練などを実施し、防火意識の高揚を図りました。小玉川少年消防クラブによるポンプ操法や観音林児童館園児による特別演技も披露され、演習に花を添えていました。

町中心部を分列行進した

後、仲町裏手の雪谷川河川敷で放水訓練を実施。消防自動車全二十七台から、天高く一斉放水すると沿道に集まった観客からは、拍手と歓声が上がっていました。



新町大正団「大津絵道成寺」



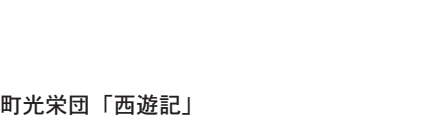
上新町「風流 遠山金四郎」



大町協誠団「風流 蒲生氏郷」



本町新栄団「風流 巴御前馬上の戦い」



荒町光栄団「西遊記」

第18回花いっぱいビューティ軽米推進コンクール

最優秀賞

晴高小学校

地域花壇の部（3年連続）

高柳・花の会

学校花壇の部（5年連続）

花と緑に包まれた町づくりをめざし開催されている第十八回花いっぱいビューティ軽米推進コンクールの審査会が、八月二十五日に行われました。地域や学校、家庭花壇に二十七組が応募。最優秀賞には、学校花壇の部では晴高小学校が、地域花壇の部では高柳・花の会がそれぞれ輝きました。



国道395号線沿いの花壇に児童の背丈近くにまで咲く晴高小花壇



後方に「火119」のデザインがくっきりと浮かび上がった高柳・花の会の花壇と会員の皆さん

童から募集し、今回は槻木澤ななみさん（六年）の考えた太陽のデザインをもとに図案を作成しました。植栽には、児童と教職員のほかPTAなど児童の父母らも参加し、一緒に花壇づくりに取り組んでいます。

戸来校長は「児童と保護者、学校の三者の取り組みが今年も実を結んだ。花壇活動を通して、児童の自然を大切にしたい」と話していました。

地域花壇の部では、高柳・花の会（襲主文雄代表、会員三十一人）が、三年連続の最優秀賞を受賞。主要地方道軽米種市線沿いに設けられた花壇に、無事故と無火災を願って「こどもSOS」「火119」と形づくりました。襲主さんは、「みんなが日課のように草取りなどを行い、花壇作りが地区全体のまとまりにもつながっている。来年も、もちろん最優秀賞を狙いたい」と意気込みを話していました。

審査結果
（最優秀賞を除く、敬称略）

- ◆地域花壇の部
 - 【優秀賞】 沢田公民館環境部
 - 【優良賞】 鶴飼部落常会▽尾田ファミリーガーデン▽東・花すきあつまる会▽上館・沿道花壇
 - 【奨励賞】 軽米町シルバー人材センター花壇▽西里花づくりサークル
- 【努力賞】 下円子老人クラブ花壇▽長倉・花の道▽笹渡・ピース▽小松ロードガーデン▽学校給食センター花壇▽上野場生涯学習花壇
- ◆学校花壇の部
 - 【優秀賞】 笹渡小中・ササズガーデン
 - 【優良賞】 小軽米小・さわやか花壇▽軽米中・学校花壇▽観音林小・夢花壇
 - 【奨励賞】 円子小・学校花壇▽小玉川小・こたまっごガーデン
 - 【努力賞】 晴中福祉花壇&晴中花壇▽米田小・学校花壇
- ◆家庭花壇の部
 - 【優秀賞】 鶴飼「家庭花壇」（山崎孝太郎）
 - 【優良賞】 ▽桜山「我が家のミニ花壇」（菅原隆）
 - 【奨励賞】 高柳「家庭花壇」（細谷地キエ）
 - 【努力賞】 上増子内「家庭花壇」（松山まつよ）

ユイコのケアドール第3弾

向川原地区で100人が参加



参加した地区民100人に、山本賢一町長（手前右）も加わって結いの道づくりに取り組みました

地域住民の手で道づくりを行うユイコのケアドール事業が六月の米田地区、七月の門前地区に続き、九月二十四日に向川原地区の町道館櫛線と防里沢川沿い管理用道路（総延長約六百メートル）で行われました。地区民約百人が朝早くから集まり、スコップなどを手に切削材をならす作業を行いました。町内会長の戸草内勝夫さんは「多くの人に集まってもらい作業もスムーズに進んだ。大切に使っていきたい」と完成を喜んでいました。

1日行政相談（10月17日）をご利用ください

行政相談委員
杉浦 勇五郎さん

- 開催日時 10月17日（火）午前10時～午後3時
- 開催場所 農村環境改善センター1階会議室
- 相談内容 国が関係する事務事業についての要望や不満など、ご相談ください

秋の全国交通安全運動
（9月21日～30日）黄色い羽根に
願いを込めて登下校時の交通安全と
飲酒運転撲滅を訴える

登校中の児童に黄色い羽根を手渡しながら交通安全を呼びかけました

秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日、町内十一カ所で黄色い羽根の街頭配布が行われました。二戸地区交通安全協会軽米分会と町交通安全母の会、交通指導隊など約百五十人が通学路の交差点付近などで、登校中の児童・生徒に黄色い羽根を手渡しなが

ら交通安全を呼びかけたほか、ドライバーには飲酒運転撲滅を訴えました。町防犯隊も中心街で鍵かけなど、犯罪被害の防止を地域住民に呼びかけました。

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

全国地域安全運動

みんなで
つくろう
安心の街

★毎年10月11日は

「安全・安心な街づくりの日」

今年から定められた「安全・安心な街づくりの日（10月11日）」から10月20日までの10日間、安心して暮らせる地域社会の実現を目的に「全国地域安全運動」が実施されます

●子どもの犯罪被害防止

全国で下校途中の児童が連れ去られ殺害される事件が相次ぎ、県内でも「声掛け事案」が増加傾向にあります。あいさつ運動などで地域コミュニティを強め、子どもたちの安全を見守りましょう

●ひったくり、性犯罪被害の防止

住民の体感治安を悪化させるものに、ひったくりの被害があります。被害に遭わないため、防犯グッズの携帯や、夜間の一人での行動、暗がりの通行は避けましょう

●住宅侵入犯罪の防止

住宅への侵入窃盗・強盗犯罪の発生割合が高く、特に県内では、無施錠による被害割合が高いのが特徴です。外出時や就寝時の「鍵掛け」を習慣づけましょう。

8月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は1月からの合計

▶市内の交通事故

	当月（累計）	昨年比
人身事故	3件（12件）	+4
死亡者	1人（1人）	±0
負傷者	2人（17人）	+8
物損事故	9件（73件）	-21

▶救急車の出動回数

29回（245回） +22

▶飲酒運転検挙者はありません

みんなで掴んだ 初の東北大会出場

中学校・小編成の部



東北大会での熱いステージを終えたばかりの軽米中吹奏楽部の皆さん（9月10日、県民会館）

軽米中学校（嵯峨進校長、生徒二百七人）の吹奏楽部（金田早世部長、部員二十六人）が全日本吹奏楽コンクール第四十九回東北大会に初出場を果たしました。同部は、八月五日に二戸市民文化会館で開催された同コンクール第四十四回岩手県大会・中学校小編成の部（二十五人以下で編成）に出場し、三年連続となる金賞を受賞。更に県代表（二校）にも選ばれ、東北大会の出場権を獲得しました。部長の金田さん（三年）は「練習時間が足りなくて、県大会直前なのにみんな大泣き



部長の金田さん（左）と副部長の館下さん

したこともあった。大会当日は、演奏のことをあまり覚えてないほどに緊張していた」と振り返りました。

県大会での金賞受賞は三年連続の受賞。また県代表には初めて選出されました。副部長の館下えりさん（三年）は、「閉会式で金賞の発表を聞いたときは、みんな思わず叫んでしまった。中学校での三年間、金賞を受賞できて嬉しい。県代表に選ばれたときは、信

県ソフト テニス大会 小学3年生 以下の部

初大会で初優勝 田澤友佳・山下彩花組

第十六回県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会・小学生の部が、八月二十六日に盛岡市で開催され、女子三年生以下の部に出場した田澤友佳・山下彩花組（ともに軽米小三年）が優勝を飾りました。大会には、県内から男女合わせて三百七十五人が出場。そのうち女子三年生以下の部には、十三チームが出場し、予選リーグと決勝トーナメントで行われました。二年生からソフトテニスを



県大会での優勝カップと賞状を手にした田澤さん（左）と山下さん

始めた二人ですが、初出場した大会で、見事に初優勝とい

う快挙を成し遂げました。また決勝には、同じ軽米小三年の工藤冨さん（三年）も勝ち進むなど、今後に期待が持てます。

二人は「練習はとっても楽しい。次の大会でも勝ち続けたい」と話し、次の大会に向けて早速、練習に励んでいました。

カシオペア 合唱祭に 出かけよう

【問い合わせ先】
カシオペア連邦
合唱連盟事務局
☎27-2389

- 日 時：11月12日（日）
午後1時開場
1時30分開演
- 会 場：二戸市民文化会館
- 出 演：軽米童謡を歌う会など
全12団体が出演
- 入場料：500円

馬

産地・軽米から 初の名誉賞

第50回県畜産共進会・馬の部 細谷地安美さんの「第八姫」



（左から）細谷地安美さん、名誉賞を受賞した「第八姫」、安美さんの孫の涼太さん、建太さん

細谷地安美さん（高柳、十八歳）所有の育成馬「第八姫」（雌、二歳）が、九月一日に盛岡市で開催された第五十回岩手県畜産共進会・馬の部で、最高賞の名誉賞を獲得しました。

「第八姫」は、出品された第二類（三歳未満の育成馬）で一等賞を獲得。更に、第三類までの各一等賞の中から、一頭のみに贈られる名誉賞に見事選ばれました。

細谷地さんは「名誉賞の受賞は軽米では初めてで、たいへん光栄なこと。これも先輩がたの指導のおかげであり、誇りに思っている。将来は、この馬の子どもも育てていきたい。後を継いでくれるであろう孫たちにも、負けないくらい馬を育ててほしい」と感慨深げに話していました。今回の名誉賞の獲得は、町内からは初めてで、第五十回の記念大会で馬産地・軽米を県内に印象づけました。

◆種目別の優勝者と記録◆（敬称略）

◇トラック競技			
【3年女子 60m】	山下 彩花（軽米小）	10秒6	
【3年男子 60m】	日脇 拓実（軽米小）	10秒5	
【4年女子 100m】	竹林 萌絵（山内小）	17秒2	
【4年男子 100m】	神山 敏夫（米田小）	16秒7	
【5年女子 100m】	下又 理香（軽米小）	16秒1	
【5年男子 100m】	日山 大樹（軽米小）	14秒7	
【6年女子 100m】	増尾 緩菜（小軽米小）	15秒4	
【6年男子 100m】	中里 一輝（軽米小）	14秒7	
【女子 200m】	関 惟乃（山内小）	32秒5	
【男子 200m】	坂本 隆磨（軽米小）	29秒7	
【3・4年女子 800m】	竹林 萌絵（山内小）	3分09秒8	
【3・4年男子 800m】	中野 優太（軽米小）	2分57秒9	
【女子 800m】	長井 梓（観音林小）	2分52秒1	
【男子 1000m】	日山 直人（小軽米小）	3分27秒4	
【女子 80m ハードル】	小笠原遥花（山内小）	17秒1	
【男子 80m ハードル】	宮本 和輝（円子小）	15秒3	
【女子 400m リレー】	小軽米小	1分03秒1	
【男子 400m リレー】	軽米小	59秒5	
◇フィールド競技			
【女子走り幅跳び】	下又 理香（軽米小）	3m43	
【男子走り幅跳び】	日山 直人（小軽米小）	3m83	
【女子走り高跳び】	山田 理奈（小軽米小）	1m05	
【男子走り高跳び】	杉浦 賢也（小軽米小）	1m15	
【女子ソフトボール投げ】	奥 裕香（小軽米小）	35m30	
【男子ソフトボール投げ】	長瀬 武継（晴高小）	51m90	
※太字色付きは大会タイ記録			

第43回町小学校陸上記録会

力の限り記録に挑戦



声援を受けながら力走を見せた6年男子100メートル

第四十三回町小学校陸上記録会が九月十三日、ハートフル・スポーツランド多目的広場で開催されました。トラック競技とフィールド競技あわせて二十四種目に延べ四百十四人が出場。全力で駆け、跳び、投げる選手にスタンドの応援団からは、熱い声援が送られていました。三年女子六十斤に出場した山下彩花さん（軽米小）が、十秒六で大会タイ記録を記録しました。種目別的一位記録は右表のとおりです。



中里マツエさん（前列左から2人目）をご家族でお祝いした9月6日は、悠仁親王がご誕生された日でもあり二重のおめでたい日となりました

中里マツエさん（蛇口） 満100歳おめでとう



農村環境改善センターで開催された町敬老会

町敬老会に約300人が出席

平成十八年度の町敬老会が、九月十六日に農村環境改善センターで開催され、午前と午後の部を合わせておよそ三百人が出席しました。八十歳を超え、ますます元気で長生きすることを誓っていました。

豊富な経験と知識を 町づくりを生かして

町内100歳以上の方々

（平成18年9月30日現在、敬称略）

- ① 畠山ソメ（女、103歳）
- ② 川原木ヤエ（女、102歳）
- ③ 大久保カシエ（女、101歳）
- ④ 松山タミ（女、100歳）
- ⑤ 中里マツエ（女、100歳）

中里マツエさん（蛇口）が、九月六日に満百歳の誕生日を迎えました。

山本賢一町長が、自宅を訪れ「百歳、本当におめでとうございます。お元気な姿を見て、わたしも元気をもらいました。これからもますます長生きしてください」と話し、長寿祝い金と「心」と自筆した色紙を手渡しました。

八人の子どもたちに囲まれ中里さんは「お祝いしていただき、ありがとうございませす。家族が優しく面倒見てくれてありがたい。幸せです」とはつきりとした口調で、喜びを話していました。

九月六日現在で、町内の百歳の方は五人となりました。



代表謝辞を務めた坂本俊巳さん（向川原）

「雑穀料理などにみなさんの経験や知恵を生かしていただきたい。町では、皆さんが安心して楽しく暮らせるようスポーツ・文化活動の環境整備を進めている。これからも健康で長生きしてください」と祝辞を述べ、米寿の方々には銀杯を、傘寿の方々には木杯を手渡しました。

また、傘寿を迎えられる方々には、町社会福祉協議会の菅原皓文会長から、記念の杖が贈られました。

65歳以上の高齢者についてのお悩み事は、 地域包括支援センターへご相談ください

平成18年4月の介護保険制度の改正により、健康ふれあいセンター内に「**軽米町地域包括支援センター**」が新たに設置されています。

これまでの介護保険制度は、介護を必要とする方へのサービス提供でしたが、新たに介護保険の対象にならない高齢者のための「地域支援事業」が創設されたためです。

地域包括支援センターでは、保健師と社会福祉士、介護支援専門員が、介護予防事業や介護保険制度と65歳以上の高齢者の方に関するご相談に応じています。高齢者本人またはご家族などで、お悩み事やご相談がある方は、**軽米町地域包括支援センター（☎46-4111）**までお気軽にご連絡ください。

《地域包括支援センターの業務内容》

- ① **介護予防事業**
（高齢者が介護状態にならないための予防）
- ② **包括的支援事業**
（要支援者への予防ケアマネジメント事業、高齢者と介護保険に関する総合相談、権利擁護など）
- ③ **介護を行う家族への支援事業など**

ご自宅にいる方でも、このような介護サービスが受けられます

★はサービス提供事業所

- ① **訪問介護**（ホームヘルプサービス）
訪問介護員が自宅に訪問し、入浴や食事の準備など身の回りのお世話をします
★健康ふれあいセンター
★くつろぎの家
- ② **訪問入浴**
訪問入浴車が浴槽を持って自宅に訪問し、入浴のお手伝いをします
★健康ふれあいセンター
- ③ **通所介護**（デイサービス）
自宅からデイサービスセンターまで送迎し、入浴や食事、身体機能訓練が受けられます
★健康ふれあいセンター
★くつろぎの家
★せせらぎ
- ④ **通所リハビリテーション**
デイサービス施設に通い、心身の機能回復に必要なリハビリが受けられます
★花の里かるまい

自宅にいながら受けられる介護サービスを利用してみませんか？
お近くの居宅介護支援事業所までご相談ください。

町内の
居宅介護
支援事業所

★健康ふれあいセンター
（☎46-4111）
★花の里かるまい
（☎46-4646）
★くつろぎの家
（☎47-2351）
★せせらぎ
（☎45-3007）

⑤ 短期入所（ショートステイ）

日数を限定して、短期入所施設に入所し、入浴や食事などの日常生活のお世話や機能訓練が受けられます

★いちい荘
★花の里かるまい
★くつろぎの家

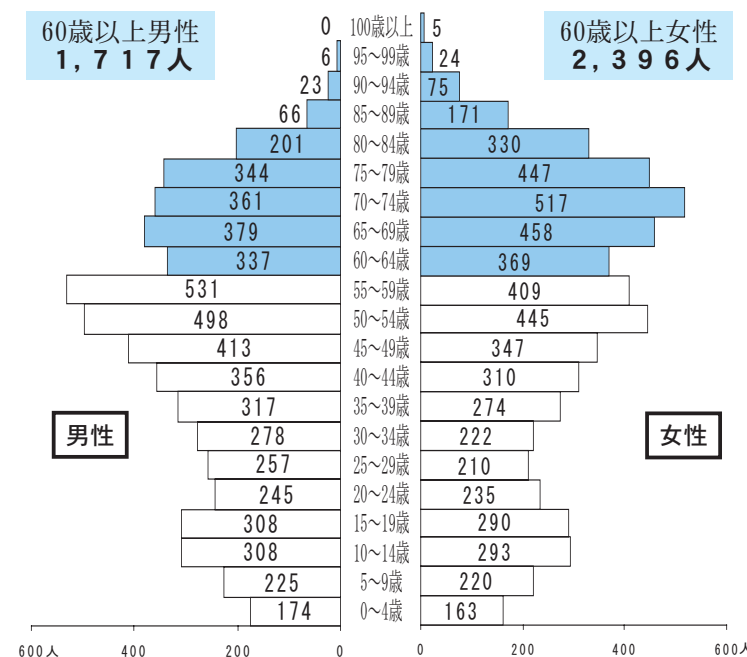
⑥ 訪問看護

看護師などが自宅を訪問し、療養上のお世話や必要に応じて診療の補助を行います

★ねんりん軽米

町内の人口階層別（5歳ごと・男女別）グラフ

（資料：平成18年9月30日現在の住民基本台帳）



町内の60歳以上の方は4,113人

平成18年9月30日現在の町人口の年代別割合では、60歳以上の方は4,113人で、全人口の35.9%を占めています。

平成10年の人口割合と比較してみると、60歳以上の割合は32.2%から、3.7ポイント上昇しており、60歳以上の割合が増加しています。

また60歳以上を男女別に見ると、女性の割合が58.3%で、さらに90歳以上では78.2%と女性の割合が多くなっています。

社会を学ぶ龍谷大生が軽米体験



牧場での搾乳体験では、指導を受けながら真剣な表情で手搾りと器具の取り付けを行いました

龍谷大学（京都市）社会学部の学生五人が八月三十一日、「スタディツアー」で笹渡地区を訪れ、地域体験を行いました。地域づくりに取り組む「笹渡みんなで考え隊（賛主文雄代表）」が窓口で、学校訪問や農業体験を通して地区民と直に触れ合い、町の暮らしを体験しました。滋賀県出身で東北は初めて訪れたという石崎彩（あざ）さんは「あふれる自然やきれいな景色が、とても印象に残った。また来てみたい」とすっかり軽米ファンになった様子でした。

選ばれし宝は地域で守られる

カシオペア文化財展「選ばれし宝」巡りツアー（軽米・九戸コース）が九月三日に行われ、町内外から参加した十四人は、町内と九戸村に残る文化財などを見学しました。町歴史民俗資料館を会場に公開された企画展では、二戸地域の指定文化財全二百九点を展示。今に残る貴重な遺跡や彫刻、民俗文化財などの説明を受けた一行は、実際に巨樹や史跡などをバスで巡りながら、地域で守り、受け継がれてきた文化財の貴さを改めて感じていました。



企画展会場を訪れたツアー参加者はその地域地域に残る文化財に興味深げに見学していました

星降る森の公園で思い出の夜

独身男女の交流を活発にしようとする星降る森のカーニバルが九月三日の夕方から、雪谷川ダムフォリスパーク・軽米で開催されました。町内と八戸市などから男女およそ百二十人が参加。会場では屋台や打ち上げ花火、歌のライブやダンスステージを楽しんだり、景品付きのゲームやクイズ大会などで交流しました。男性から女性に思いを伝える最後の告白タイムでは、十七組のカップルが成立するなど、思い出深いイベントとなった様子でした。



サウザントステージではゲーム大会などが行われ交流を楽しみました

修学旅行に向けて笑顔の収穫



収穫したソバは実成りも多く収穫量も期待ができる出来栄で、張り切って収穫していました

雑穀栽培に取り組む晴山中学校（福嶋淳史校長、生徒九十四人）で九月二十日、二年生によるソバの収穫作業が行われました。晴中農園の名称でソバの栽培に取り組む同校では、収穫したソバを粉に加工して来春に修学旅行で訪れる予定の県産品ショップ「いわて銀河プラザ」で販売する計画。学級委員長の福田翔くんは「たくさん収穫できてうれしい。来年の修学旅行では、みんなががんばって完売させたい」と張り切っていました。

市を盛り上げ地域福祉に還元



軽トラ市での収益金を菅原会長（右）に手渡す国久部長（中央）と高橋静子副部長

町商工会女性部（国久孝子部長、部員五十三人）が九月七日、二日に開催された軽トラ市での収益金二万六千円あまりを町社会福祉協議会に寄付しました。部員が持ち寄った二百点を超える品々は、約一時間半で完売。国久部長が「イベントを盛り上げようと参加したところ、思った以上の反響だった。みなさんにお役立てください」と手渡すと、菅原皓文会長は「協議会としてもたいへんありがたい。有意義に使わせていただきます」と受け取りました。

プロの生演奏に覚える感動

笹渡小学校（村上四郎校長、児童三十人）の創立百三十周年を記念して、山形交響楽団のスクールコンサートが、八月三十一日に同校で行われ、児童のほか同中学校の生徒と地区民など百五十人が生のオーケストラを堪能しました。指揮者体験では、手の振りや演奏の早さや強さが変わるプロのオーケストラの迫力を肌で実感。目の前で聞いた大下春花さん（六年）は「すばらしい演奏に感動しました。百三十周年の良い思い出です」とお礼を話していました。



指揮者体験では、指揮棒を手に指揮者の役割の大きさとオーケストラの一体感を実感していました



健康福祉課主任栄養士 横島悦子

誰もが生涯にわたって、心身ともに健康で暮らしていくためには、毎日の食事が重要です。国の食育基本計画の中では、6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」と定め、「少なくとも週1日は家族そろって楽しく食卓を囲む」ことを呼びかけています。

「食育」のねらいは「こころ」を育てることです。特に子どもたちが、①食べ物を選択できる力、②食べ物の味がわかる力、③料理が出来る力、④食べ物の命を感じる力、⑤元気な身体がわかる力を身につけることを掲げています。

最近では、朝食を食べない大人が増え、親が食べる習慣がないから子どもも食べない家庭が増えています。簡単なことですが、誰かと一緒に食事をし心を通わせる、そんな積み重ねが人の心を豊かにし、成長の糧となるのです。普段、朝食を食べていない人は、さっそく明日から食べましょう。生涯を健康に過ごす第1歩です。(☎46-4111)

昭和60年10月31日姉妹提携 音更町だより

平成15年7月26日開園以来の入園者が、100万人を達成した十勝川温泉にほど近い十勝エコロジーパークで、記念式典が行われました。お孫さんと訪れた幕別町在住の矢野さんが、節目の入園者となり、財団から花束とコテージ宿泊券が記念品として贈呈されました。



北海道立十勝エコロジーパークのピクニックセンターで行われた記念式典



◆プロフィール◆
【氏名】 Shawn MacDonald
(ショーン・マクドナルド)
【国籍】 カナダ
【生年月日】 1982年6月9日生 24歳
【略歴】 ゲルフ大学卒。2006年8月3日から町の英語指導助手。趣味はスキー。

ショーンのからまい日記

Umeki-san : So Shawn, it's been almost two months since you arrived in Karumai. How are you adjusting?

梅木：ショーン、軽米に来てからもう2カ月になるね。少しは慣れた？

Shawn : Fine thanks. I can go to the grocery store on my own now, even though I'm not always sure of what I am buying! I'm also getting used to the different schools I visit. Everyone has been very friendly.

ショーン：はい、何を買いお出かけするときもあるけど、もう一人で食料品店にも行けます。いろんな学校に行くことにも大分慣れてきました。みんな、すごくフレンドリーなんですよ。

U : Did you participate in Karumai's Fall Festival?

梅木：軽米の秋まつりにも参加したの？

S : Yes, I helped pull the float for Honcho and danced in the Karumai-ondo. I also invited a few other ALTs from Ninohe, Hirono, and Kuji to participate!

ショーン：はい、本町新楽団の山車を引いたし、軽米音頭も踊ったんですよ。それに、二戸と洋野と久慈のALTの人たちも招待したんです。

U : Wow, it sounds like you had a busy weekend! Where did the ALTs stay when they were in town for the Fall Festival?

梅木：じゃあ、相当忙しい連休だったんじゃないの？で、ALTの友だちはどこに泊まったの？

S : Everyone stayed at my house, so it was a bit cramped! We had a lot of fun though!

ショーン：全員ぼくの所に泊まったんですよ。だからちょっと窮屈だったんですけどね。

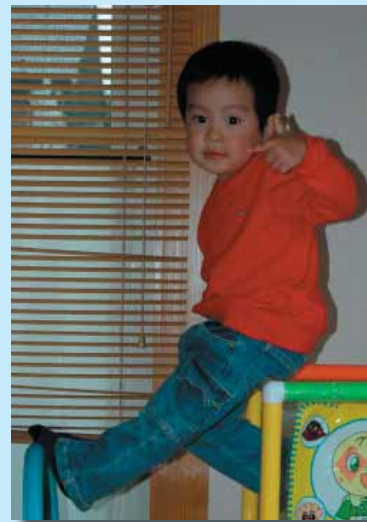
我が家の人気者 あこやかさん

じんくぼ むさし 神久保 武蔵くん (3歳1ヶ月)

愛称：ムータン

(観音林西) 良さん・智枝子さんの長男

ムータンことむさしくんは、お外がとっても大好きです。天気の良い日には、おじいちゃんやおばあちゃんが作業するタバコ畑に行くと、お手伝いをしていてくれます。一番のお楽しみは軽トラで、おじいちゃんの運転で畑をドライブしています。



古文書で見る 軽米の歴史 72

豆腐のくぐり

天明年間、かつて無いほどの飢饉であった。当時、奥州を旅した菅江真澄は「楚堵賀浜風」という見聞記に「村の小道分け来れば、草むらに人の白骨あまた乱れちり」と、その惨状を記している。大野の晴山忠五郎は、天明三年と四年の飢饉聞書に「人肉を食べ候者、余程御座候」と記している。

飢饉の始まったこの頃は、豆腐料理の本「豆腐百珍」が刊行された年でもある。地方での飢饉とは全く関係なく、江戸・大阪では美食を求めていた。この地方では、豆腐の原料大豆は、藩で買い上げ江戸へ輸出する換金作物で、江戸の大豆需要の大半は、盛岡・八戸両南部藩からの輸出であったので、豆腐は現在のように日常の食べ物ではなく、ハレの日の食べ物であった。



「大野・晴山文書」

夢・希望・えんぴつ

「百三十周年をお祝いして」

笹渡小学校三年(高柳) 高柳 雄朔



ぼくたちの学校は、今年で創立百三十周年をむかえます。百三十周年をお祝いして、いろいろな行事や取り組みが行われています。

まず、学校の花壇「ササズカーデン」のお世話です。花いっぱいビューティコンクールに向けて、五・六年生が花壇のデザインを考えてくれました。真っ赤なサルビアで「130」という数字がはつきり見えてとてもきれいです。お水をあげたり、花がら摘みをしたり、お世話は大変だけどがんばっています。コ

ンクールでは優秀賞をもらうことができました。

八月三十一日には、東北電力スクールコンサートもありました。ぼくは、本物のオーケストラを聴くのは初めてだったので、とても楽しみにしていました。オーケストラの音は、大きい音ばかりだと思っていましたが、聴いてみると小さい音、高い音、低い音などいろいろあって、とてもきれいでした。オーケストラで演奏した校歌も、迫力がありました。指揮者体験では、ぼくのお父さんが指揮をしました。指揮者になりきっていて、思ったより上手でした。今度は、ぼくが指揮者をやってみたいです。とても楽しいコンサートでした。

今月の俳句

北光吟社 八月例句会

深緑一際目立つ山ぼうし	千葉紅園
蜜蜂や香るトマトの花廻り	川島由蔵
スーパーの前土用鰻の焼く匂ひ	国久黄実
実ぎしりの稲穂に触れて安堵かな	早川慶子
こほろぎのひと節鳴いて挨拶か	中野とき
迷いこむ袖山高原秋の風	沢沢鉄馬
雨蛙鳴いて東の間俄雨	古里裕子
ひまわりの首を下げたる暑さかな	端川石造
青虫にレース模様のキャベツの葉	三上千栄女
大夕焼海峡線を乗り継ぎて	松村英子
地区民の集いにぎやか盃盆会	永井きよの

大野・晴山家で豆腐の煮染めの出る日は、一月の小正月、三月三日の上巳の日、五月五日の端午の日、七月七日豆腐、九月廿九日重陽の代わりの日、秋大豆の打仕舞に秋豆腐、十二月五日に煮染め、田楽、おから、山神様の日に豆しぎを作った。

地方で飢饉に苦しむとき、都会の者は「人々凶作と言うが、我はさも思わず。百姓が増長するので、五・六年も不作が続けば良い」という者もあり、中央は地方の困窮とは無関係に美食文化が発達した。その一つの現れが「豆腐百珍」である。

(町古文書解説会)

お知らせ 情報 Information

ジョブカフェが 就職活動をお手伝い

就職活動を支援するため県と二戸市の協働による「ジョブカフェいわて☆カシオペア」が10月10日にオープンしました。自分に向いた仕事探し、好きな仕事に就くまでの相談、就職に必要な知識や技術の習得のお手伝いなどを無料で行います。

▶開設時間：月～金曜日の午前10時から午後5時まで

※水曜日は午後7時まで営業

▶場所：二戸地区合同庁1階

▶主なサービス：パソコンによる自己診断、カウンセラーとの相談、知識・技術の習得のためのセミナー、ハローワークと連携した仕事探しなど

【問い合わせ先】ジョブカフェいわて☆カシオペア（☎050-7544-4480）

労働保険の手続きは もうお済みですか？

10月は労働保険適用促進月間です。「労災保険」と「雇用保険」の労働保険の加入手続きは、町商工会や社会保険労務士に依頼することができます。労働保険に必ず加入しましょう。

▶労災保険：業務上または通勤



今日は、円子小の1年から4年生までのみんなで枝豆を収穫する日



枝という枝が絡み合って、こりゃたいへんだー



こんなに立派に、たくさん実っちゃいました



ねえねえ見て見て、ほらこんなに大きなもがあったよ

途中に負傷などした場合に、保険給付を行います

▶雇用保険：失業した場合に保険給付を行います。労働者を雇っている事業者が、加入しなければなりません。

【問い合わせ先】二戸労働基準監督署（☎23-4131）または二戸公共職業安定所（☎23-3341）

石綿被害者の遺族に 特別給付金を支給

本年3月に施行された「石綿救済法」により、平成13年3月26日以前に中皮種や肺がんなどの石綿ばく露を原因とする疾病で亡くなった労働者の遺族に、特別遺族給付金が支給されます。なお、平成13年3月27日以降に亡くなった場合には、労災保険法に基づく遺族補償給付が支給されます。

▶特別遺族給付金の給付対象者 平成13年3月26日以前に石綿ばく露を原因とする疾病で死亡された労働者のご遺族 ※請求のあった月の翌月からの支給となりますので、早めに請求手続きを行ってください

▶労災保険による遺族補償 平成13年3月27日以降に石綿ばく露を原因とする疾病で

死亡された労働者のご遺族 ※死亡した日の翌日から5年で給付権利が消滅します
【問い合わせ先】岩手労働局（☎019-604-3009）

知っていますか？ 建退共制度のこと

建設業退職金共済制度は、建設現場で働く方を対象に働いた日数に応じて、建設業を退職する際に退職金が支払われる国の共済制度です。

▶加入できる方：建設業を営む事業主

▶対象労働者：建設現場労働者

▶掛金：月額310円
【問い合わせ先】建設業退職金共済事業岩手支部（☎019-622-4536）

法律や裁判について 「法テラス」に相談を

法的トラブルや法律についての情報やサービスを受けられる日本司法支援センター（通称：法テラス）が10月2日に業務を始めました。電話でお気軽に相談ができます。

▶主なサービス
▷法的トラブルの解決に役立つ情報提供▷裁判費用の相談や費

用の立替え▷弁護士がいらない地域での適切な料金での法律サービスの提供▷弁護士や支援団体の情報提供▷国選弁護士体制の整備など

▶一般相談☎0570-078374

▶犯罪被害者相談 ☎0570-079714

【問い合わせ先】日本司法支援センター岩手地方事務所（☎080-1367-8096）

女性のお悩み相談に ホットラインを開設

県人権擁護委員連合会と盛岡地方法務局では、DV（ドメスティックバイオレンス）やストーカー行為など、女性の悩み事や相談を受け付ける人権ホットラインを開設します。

▶開催期間：11月13日(月)から

19日(日)までの7日間

▶時間

▷平日：8:30～19:30

▷土日：10:00～17:00

▶電話番号

0570-070-810

▶相談員：人権擁護委員、法務局職員

【問い合わせ先】盛岡地方法務局（☎019-624-9859）

二戸広域組合議会の 定例会を傍聴ください

ごみ処理や介護保険などを行う二戸地区広域行政事務組合の10月定例会を傍聴できます。

▶日時：10月31日(火)10:00～

▶場所：二戸地区広域行政事務組合会議室

【問い合わせ先】同組合事務局（☎23-7772）

内科	休日当番医	歯科
菅整形外科・皮膚科クリニック（☎23-7311） 二戸市石切所	10月22日（日）	菅原歯科クリニック（☎23-1180） 二戸市福岡
川村医院（☎23-3252） 二戸市福岡	29日（日）	ムカイダ歯科クリニック（☎46-4636） 軽米町蓮台野
小野寺内科医院（☎33-2505） 一戸町高善寺	11月3日（祝）	沢藤歯科医院（☎25-4002） 二戸市堀野
斉藤産婦人科医院（☎23-2505） 二戸市石切所	5日（日）	ぼっぼ歯科クリニック（☎31-1182） 一戸市一戸
小原内科医院（☎23-4310） 二戸市石切所	12日（日）	菅原歯科医院（☎27-3301） 二戸市金田一

戸籍の豆知識

子の続柄

子の続き柄の欄には、婚姻している夫婦間の子（嫡出子）の場合には「長男」「二女」と記載されます。一方、婚姻していない男女間に生まれた子は、以前までは「男」「女」とだけ

【問い合わせ先】役場・町民生活課（☎46-4735）

記載されていましたが、一昨年から、申し出いただくことで「長男」「二女」というように直すことができます。更に、訂正した跡を残さずに直すこと（再製）もできます。

図書館だより — 今月の新刊 —

【児童書】

「ピリカ、おかあさんへの旅」

文：越智典子 絵：沢田としき



鮭のピリカたちは、迷わずまっすぐに泳ぎ続けます。なつかしいにおいのする故郷の川で卵を産み、最後にピリカが見たものとは…

「発想力が身につく ふしぎ絵ワールド」

作：内藤誼人 絵：篠田祐介

イラストの中に隠れている、いろいろなしかけを探してみよう。発想力、集中力、記憶力などを楽しく養える知育絵本



【一般書】

「八月の路上に捨てる」

著：伊藤たかみ



現代の若者の生活を覆う社会のひずみに目を向けながら、その生を軽やかに描く。芥川賞受賞作

「よくわかるきのこ大図鑑」

著：小宮山勝司

約300種類のきのこを、発生する場所ごとに分けて紹介。保存法や料理レシピも収録した、きのこ初心者にも最適の図鑑



図書館ひろば

◎日時：10月28日（土）10:00～12:00

◎会場：旧生活文化博物館（町立図書館となり）

◎対象：小学生、幼児 皆さんで、お越しください

税の一口メモ

災害などに遭ったとき

地震、火災、風水害などの災害によって、住宅や家財などに損害を受けたときは、確定申告を行うことで、「所得税法の雑損控除」又は「災害減免法」の適用を受けることができます。また、災害が発生した後に納期限の到来する

【問い合わせ先】二戸税務署（☎23-2701）

「予定納税」や給与所得者の「源泉所得税」などについては、確定申告の前にその減額又は徴収猶予などを受けることができます。

詳しくは、国税庁ホームページ（<http://www.taxanswer.nta.go.jp/>）で確認できます。

町税の納期限 (10月31日まで)

町県民税 3期

国民健康保険税 4期

早めに納付ください

10月 October

16	月	
17	火	1日行政相談会【環】10:00~15:00 ポリオ予防接種【病】14:00~14:30受付
18	水	1歳児健診【ふ】13:00~13:30受付 H17年6月~9月生まれ対象
19	木	あのなっす相談所【老】10:00~15:00
20	金	ポリオ予防接種【病】14:00~14:30受付
21	土	町長杯ゴルフ大会【軽米フェニックスC.C.】
22	日	ちびっ子交通安全・防犯フェスティバル【環】10:00~ 町民パークゴルフ大会【ハ】9:00~
23	月	
24	火	ポリオ予防接種【病】14:00~14:30受付 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(予約☎23-3111)
25	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00~12:00
26	木	うまっこ教室【ふ】9:30~12:00 あのなっす相談所【老】10:00~15:00
27	金	成分献血【役場地域整備課車庫前】10:00~16:00 介護教室【病】13:00~14:30
28	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
29	日	秋季町民ゲートボール大会【ゲ】9:00~ 夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】~31日
30	月	
31	火	町税の納期(町県民税3期、国民健康保険税4期)

11月 November

1	水	第27回町民文化祭(展示部門・幼小中書写絵画展) 【公】9:00~17:00(~3日) 第8回寿大学【公】9:00~17:00(~3日) 乳児健診【ふ】13:00~13:30受付 H17年12月、H18年3月、6月、8月生まれ対象
2	木	あのなっす相談所【老】10:00~15:00
3	金	【文化の日】 第27回町産業まつり&畜産共進会 【役場前ほか】9:00~ 町交通安全推進大会兼シルバー交通安全大会【環】13:30~
4	土	
5	日	第27回町民文化祭(ステージ部門)【公】13:00~
6	月	
7	火	町小中学校音楽会【軽米中体育館】13:00~ こころの相談【ふ】14:00~15:30
8	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00~12:00
9	木	全国秋季火災予防運動(~15日) あのなっす相談所【老】10:00~15:00
10	金	
11	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
12	日	
13	月	
14	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(予約☎23-3111)
15	水	2歳児健診【ふ】13:00~13:30受付 H16年7月~10月生まれ対象

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)

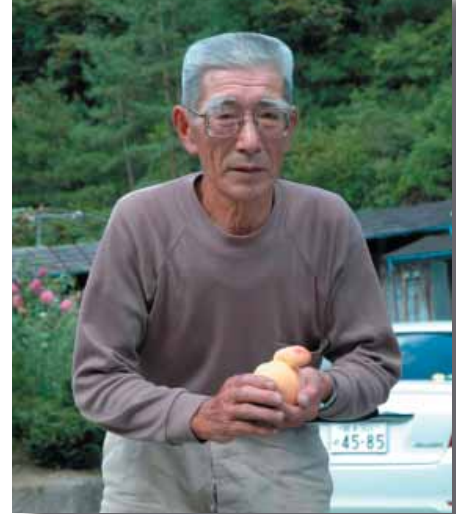
体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・スポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行/岩手県軽米町 編集/総務課
(毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

ある日の風景



高田忠さん(向高家、75歳=写真)が栽培する桃の木から何とも珍しい桃がなりました。一つの桃の上の部分に、もう一つのちょんまげのような桃が付いています。高田さんは「変わった形の桃が出来たのは生まれて初めて。他にも全く同じ大きさの双子のような桃もでき、これもめごとだった」と目を細めていました。

冠婚葬祭 8月届出分
＜敬称略＞

おめでた

元屋町 宮澤 美優 (裕一郎)
沢里 吉田 茉矢 (育喜)
上新町 小林 千星良 (良式)
車門 川原木 琉星 (正)
蓮台野 早川 まなほ (真)
東 東山 玲奈 (英明)
向川原 竹澤 潔紀 (太)
笹渡 向屋敷 苺 (俊男)

おしあわせに

{ 荒川 俊夫 (向川原)
上澤 厚子 (高家)

おくやみ

上尾田 中里 千代 (80歳)
観音林南 坂上 三藏 (78歳)
河北 清藤 秀男 (77歳)
長倉 森 喜四志 (65歳)
新井田 南 昭子 (46歳)
屋敷 井戸 渕徳男 (62歳)

●人の動き <平成18年8月31日現在/町民生活課調べ>

男 5,640人(-6) / 女 5,822人(-1)
合計 11,462人(-7) / 世帯数 3,758(+5)
※()は前月比
転入 7人(200人) / 転出 17人(279人)
出生 9人(46人) / 死亡 6人(91人)
※()は1月からの累計

ほとひといき / 編集後記

知人の結婚のお祝い会に、ビデオを手に出席しました。外国からの若奥様と一緒に彼を知る人・友人が主催。人も言葉も、習慣も分からぬ土地での生活を、周りが支えようとする心に感動しました。自分もその一人でありたい

と心に誓った秋の日でした。百歳の中里マツエさんは、悠仁親王と百年違いの同じ誕生日で、おめでた尽くしの取材となりました。マツエさんの言葉と、ご家族の心意気に敬服。支えあいと「和」の心を強く感じた一日でした(鶴飼)